

報 告 書

開催日時	令和4年10月3日 19時30分 ～ 21時30分		
自治協議会名	韮田自治協議会	開催場所	韮田地区市民センター
出席議員	西口和成、北山太加視、市川岳人、（班員外）西條エリ子、西田方計、川上善幸		
	班長	西口和成	記録・報告者 川上善幸
	29名		

【主な意見・提言等】

（１）伊賀市長選挙と伊賀市議会議員選挙の同日選挙の実施について

- ・99あった市内の投票所は減ってしまうのか。また人口の少ない地域は無くなるのか。投票所が遠くなると投票率は下がる。教育の中で選挙に対する学習が必要だし、選挙に対する十分な広報も必要。
- ・移動投票所も行えば良いのでは。
- ・ネットで投票できるようにならないのか。
- ・名張市では今回の同日選挙で投票率が上がっている。市としては今が検討のタイミングの時。

（２）市道の舗装補修について

- ・なかなか対応してもらえない、進まない部分もあるが、予算の増額はできないのか。
- ・子どもの安全が第一だが、現実的にどのように対応していくのか。
- ・市で専属の道路パトロール車を走らせており、簡易な対応は素早く行っているが、固定された予算も多く突出した予算編成は難しい。
- ・緊急性や安全面を考慮して順位付けされているが、継続的に要望を上げ続ける事は大事。

（３）市営住宅（公営）、中友田団地の解体について

- ・居住実態が無く、台風でトタンが飛んで区長が片付けに行く事もあり、雑草も生え放題のボロボロ状態。そして見栄えも悪いので、早急に撤去して貰いたい。
- ・議会で強制撤去の決定はできないのか。
- ・耐用年数は過ぎているが、居住権もあり入居者は家賃を支払い物置の様に使用しているが、市では廃止解体の方向なので、実態調査を行い、話し合う予定をしている。

（４）地域の要所への防犯カメラの設置について

- ・プライバシーに配慮するために、地域の同意は必要ではないか。
- ・早めに地域の理解を得ておけば、補助で設置できる時がくればすぐに取りかけられる。
- ・市単独の初期設置の補助制度はないが、地域包括交付金や絆補助金を利用して設置する事は可能。

（５）空き家の権利放棄物件の処理について

- ・伊賀市の人口は減少しているが世帯数は増加傾向なのは、高齢者世帯が増え外国人が増加したからか。
- ・何故ゆめが丘だけ人口が増加しているのか。
- ・大学を卒業しても市内には働くところが無い。雇用があり、収入が無いと住むことができない。
- ・企業の本社機能の誘致を進めよ。
- ・相続人の追跡調査、相続財産管理制度ができた。
- ・行政代執行は年間に1回程度。
- ・特定空き家法で除去できる方法はできた。
- ・若者を中心に郡部からゆめが丘に移動する人が多い。

(6) 新堂駅前複合施設整備後の施設の所有権及び維持管理について

- ・交通インフラ整備は必須。
- ・株式会社DMG森精機の最近の雇用は 1,000 人から 1,700 人に増加している。

(7) その他

- ・にぎわい忍者回廊と関西万博で観光客がたくさん来ると考えるのは夢物語だ。
- ・旧庁舎の雨漏りは酷く、修繕にいくらかかってしまうのか分からない。
- ・伊賀市行政の監視をしっかりと欲しい。
- ・超小型モビリティの検討をして。
- ・教育予算を充実させて欲しい。
- ・指定避難所となっている鞆田小学校は、水も出ないし、トイレが洋式にもなっておらず現実的に使用できない状態なので何とかして欲しい。
- ・小学校の給食費無償化は、先生が料金徴収しなくて済むので助かる。
- ・議会は 10 年先をしっかりと見据えて検討して。

伊賀市議会議長 様

令和 4 年 10 月 6 日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和 4 年度 地域意見交換会 7 班

班長 西口和成